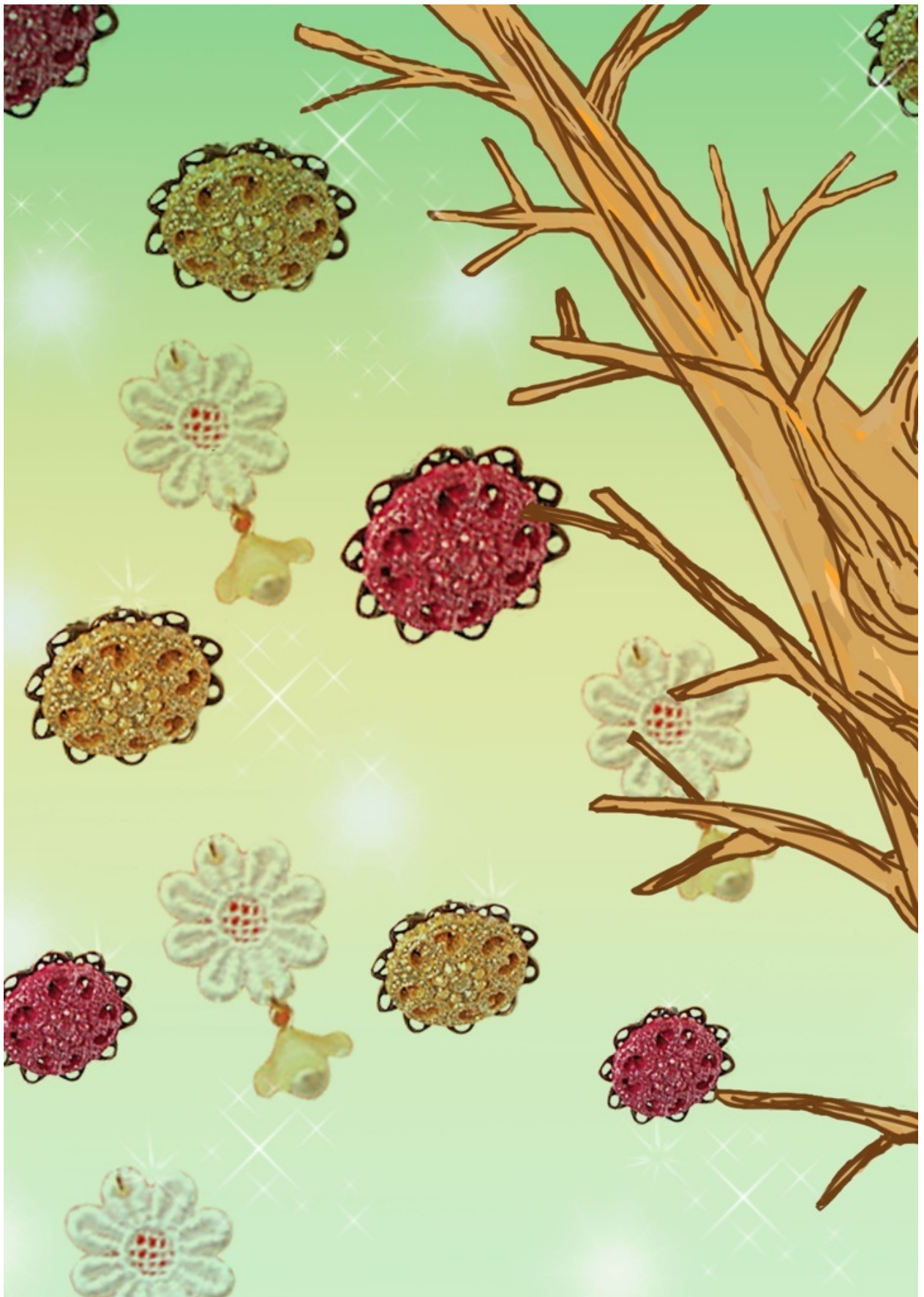


スンスンと虹色ドーナツ

s u n  s u n



スンスンがおへやでアクセサリをつくっていると
小鳥のチュンチュンなく声が聴こえてきました



窓の外をみると それはそれはお空のてっぺんにも届くほど
たかく伸びている おおきな木がありました



その木の右から三番目の枝のうえで、虹色に光り輝くドーナッツをくわえている青い小鳥がいます



スンスンはいそいでその木にかけよりました
すると 青い小鳥は虹色のドーナッツをスンスンめがけて放り投げたではありませんか



スンスンが右手をあげると そのまま手首にすっぽり！あま〜いベリーの香りと
ふわふわしたやわらか〜いドーナッツの感触 スンスンの顔はにんまりです



そのまま虹色のドーナッツはスンスンを空の旅へとつれていきました
ふんわり雲の中に入るとそこはビーズでできたお菓子の国♪



あっちには レモンの皮色のチョコレート えだまめ色のマシュマロ
こっちには 夕焼け色のアイスクリームにプニプニしたおいしそうなビーズがトッピングされています



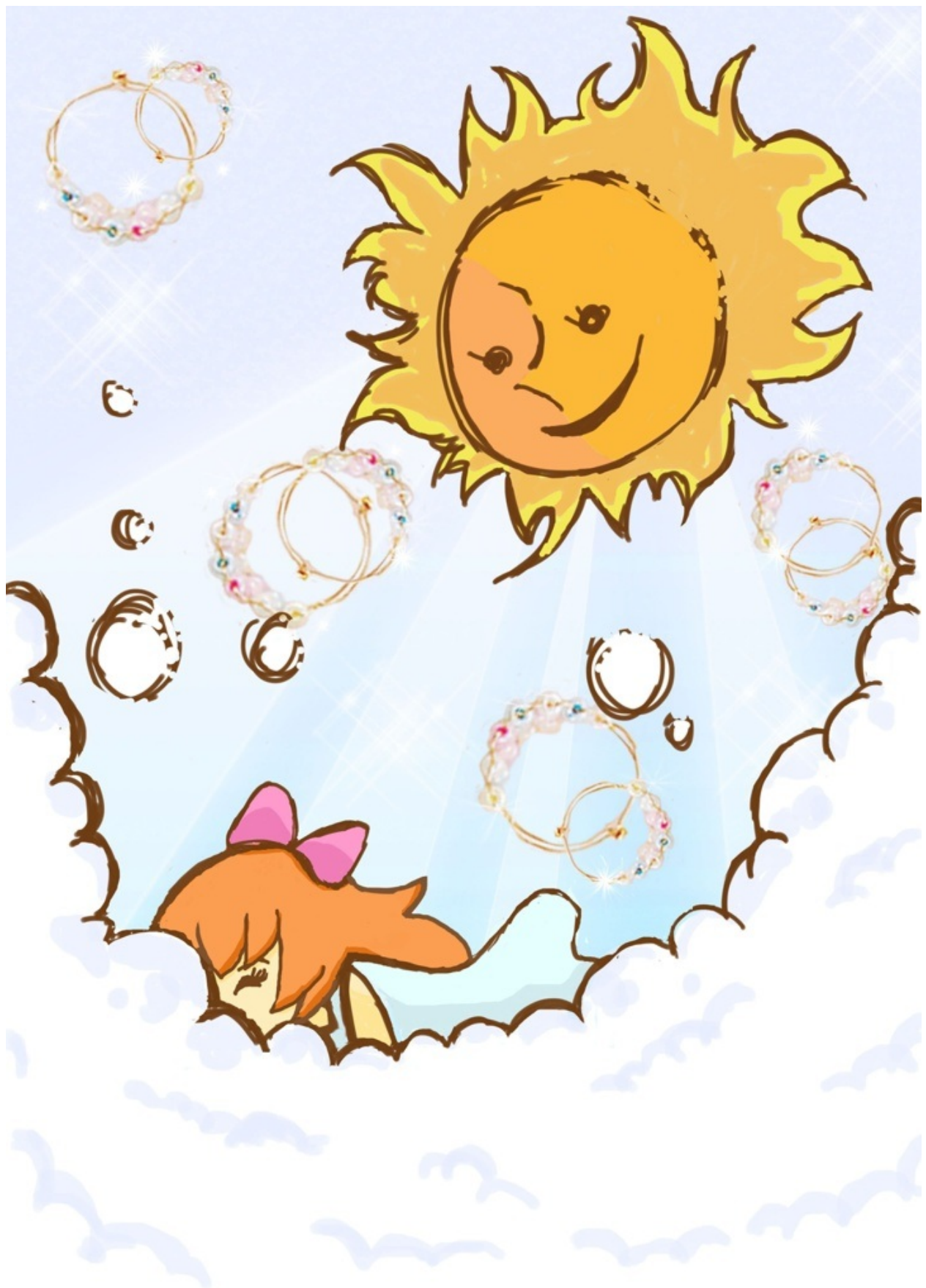
スンスはうれしくてビーズのアイスクリームをペロリ！
ビーズが口の中で弾けたとたん 楽しいキモチがぷかぷか浮いてきました
もうひとくち食べるとキュンとしたキモチがドキドキでできました



またひとくち食べるとワクワクしたキモチがぴょんぴょんと飛び出してきました
スンスンはココロがステキなことでいっぱいになるこのビーズがとっても気に入りました
「そうだ！このビーズでアクセサリーをつくらう」



スンスンは両手いっぱいのアイスクリームを抱えて
お菓子の国をあとにしました



ちょうど太陽の前をとおったころスンスンは太陽のあまざっぱい光を浴びながらうとうと眠りに
おちました

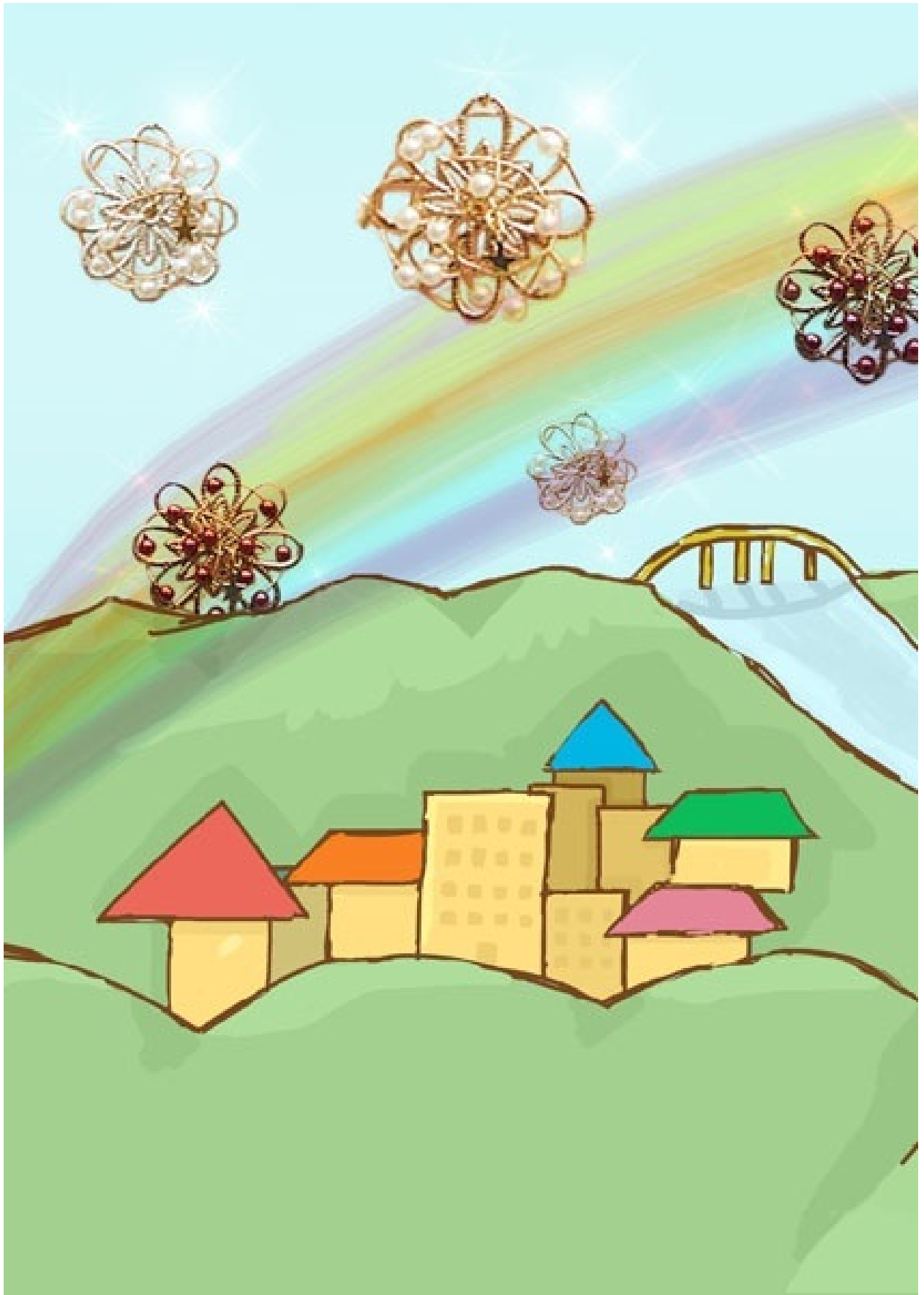
スンスンは持って帰ってきたビーズでしあわせな気持ちを込めながら
アクセサリーをつくっている夢をみました



目が覚めるとそこはいつものベッドの中
テーブルの上には 太陽の光で溶けてしまったアイスクリームがありました
スンスンは悲しくて目から大粒の涙がポロリポロリとあふれてきました



涙をふいていると右手の虹色ドーナッツからベリーの香りがしました
あまりにもいい香りだったのでドーナッツをパクリ！
するとビーズが口の中で弾けしあわせなキモチがシュルシュルわいてきました



スンスンはよろこびました
虹色のドーナッツはあのビーズでできていたのです



その後 スンスンは虹色ドーナッツのビーズで
街中にアクセサリーをつくり みんなのココロをしあわせでいっぱいになりました